

(第2号様式)

宮古特第1342号
令和8年 3月4日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古特別支援学校
校長 濱元 伸
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月11日	宮古特支視聴覚室	5人中5名
第2回	令和7年12月12日	宮古特支視聴覚室	5人中5名
第3回	令和8年2月26日	宮古特支視聴覚室	5人中3名

2 学校評議員に求めた事項

- (1)学校と地域の連携について
①センター的機能
②地域行事への参加
③交流及び交流学习
(2)50周年記念事業について

3 学校評議員の意見

- (1)学校と地域の連携について
①県立高校への支援も積極的に行って欲しい。宮古島市と連携した家庭支援が必要
②ハーリーなどの伝統行事や、宮古島市主催のイベント等に地域行事にも積極的に参加して欲しい。
③卒業生への支援も行って欲しい。
④生産物を地域の企業とともに開発・生産・販売を行う取り組みを進めて欲しい。
(2)50周年記念事業について
①地域行事等に参加しアピールする必要がある。

4 学校運営に反映した事項

学校と地域の連携を進め、50周年記念事業をアピールするために、地域行事を周知し、積極的な参加を促した。その結果ハーリー、宮古島産業まつり、宮古島冬まつり、社会協議会福祉フェスティバル、地域のお祭りなどに教職員、児童生徒が参加し、生産物販売やバンド演奏などを通して宮古特支の取り組みを周知することができた。

5 課題その他

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を連動させ、学校と地域が同じ目的・目標を共有し、地域のよりよい未来を創造するために、これまで以上に学校評議員と連携する必要がある。まずは学校評議員を学校に足を運んでいただくためにこれまで案内していなかった学校行事(校内持久走大会、地域の小中高との交流及び共同学習等)を周知する。また幼小中高で行っている地域資源を活用した学習を一覧表にまとめ、学校全体及び学校評議員と共有し、地域資源を活用した学習を計画的・発展的に行っていく。